

2015年度・2016年度における宮城大学同窓会 特別計画について

2016.3.14
宮城大学同窓会
運営委員会 委員長
畠山 直樹

2016年は、宮城大学開学20年目の年であり、宮城大学同窓会の設立10年目の年でもあります。ここで同窓会設立の趣旨を改めて振り返り、その目的を達する道筋を立てるため、現状に対する課題の認識、それを踏まえた取り組みの特別計画を策定し、年間を通じて実行して参ります。

【現状の課題】

- 活動が限りなく属人的(役員諸氏の身辺変化に伴う運営不安定化リスク大)
- 直近5年の活動が低調に終始、瞬発力はあるが持続できない、要石たる代表の身辺変化が即影響する
- 代表が東京在住であり、地の利が不足
- 運営情報の公開不足、現状は定期総会に代える電子公示での議決に頼りきり
- 全体同窓会としての建付けに対し、発足呼び掛けがされている食産業学部同窓会等との関係性規定が必要
- 呼びかけベースでの登録の限界(連絡先カバー率の限界、未達率の上昇)
- 学内に内部人材が少ないため、寄せられる情報が限られる

以上の課題に取り組むため、本年度は以下の方針にて同窓会を運営致します。

【今年度の取り組み方針】

- 「同窓会再立ち上げの年」と定義し、客観的に意思決定や運営状況が見える様にする為の計画策定・実行
 - ・(計画)5～6月、大学キャンパス内にて臨時総会実施(活動報告、短期中期計画発表)
 - ・同窓会規約の改定、運営形態の見直し(毎年の総会開催が必須の形へと変革)
 - ・10月大学祭タイミングに合わせた定期総会実施
 - ・同窓会報の発行
- 同窓会の仕組み見直し
 - ・食産業学部同窓会確立の支援、及び規約での位置付け
 - ・同窓会役員の陣容強化(OB,OGの教員や直近卒業年次、仙台在住役員の陣容掘り起こし)
 - ・役員にかかる負荷の軽い形態への変革を、大学と継続して話し合う
- 開学20周年イベントとして「ホームカミングデー企画」「同窓生パーティー(仮称)」の実施
 - ・10月大学祭タイミングに合わせ「ホームカミングデー企画」実施
 - コンセプト・・・卒業生同士と現役生、受験生のタテの繋がりが強化、MYU建学精神の再認識
 - ・「ホームカミングデー」の後、少し後ずれにて「同窓生パーティー(仮称)」実施

【臨時総会の開催について】

下記内容にて、臨時総会の開催を計画する予定です。

日程	2016年5～6月中の休日(学年暦判明次第、極力、他行事と重複しない日程にて)
場所	宮城大学大和キャンパス
概要	活動報告、短中期計画発表・決議

以上